

## 会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成21年度第4回定例会会議記録
開催日時	平成21年7月22日（水曜日） 18時30分から20時48分まで
開催場所	田無公民館 第2学習室
出席者	会長 森忠 副会長 渡辺文子 委員 中嶋美沙子、西嶋剛昭、定盛秀俊、千葉桂子、古賀節子、須磨田純子、柴山隼、大島眞之、福島憲子、萩原建次郎、上田幸夫 職員 相原館長、山本主幹、近藤係長、小笠原分館長、玉木分館長、小林分館長
欠席者	加藤真理
議題	(1) 第3回定例会の記録について (2) 報告事項 1 行政報告 2 事業計画書・報告書について 3 公民館だより編集室報告 4 都公連研究大会企画委員会報告 5 都公連委員部会運営委員会報告 (3) 協議事項 1 公運審委員の役割について (4) 事務連絡及び情報交換 (5) 次回の日程について
会議資料の名称	(1) 事業計画書 1 シニア講座「西東京の歴史を歩く」【爽秋編】（柳沢） 2 やぎさわアカデミー情報発信ゼミ「目指せ！アナウンサー」（柳沢） 3 乳幼児を育てている女性の講座「スマイルママ講座」（芝久保） 4 和紙ちぎり絵講座「和紙が織りなす美のハーモニー」（ひばり） 5 江戸文字風絵講座「粋な風が空に舞う」（ひばり） 6 地域を歩く講座「身近な樹木に親しもう」（駅前） (2) 事業報告書 1 乳幼児を持つお母さんのための講座「ひとりでがんばらないで」（柳沢） 2 健康を創る講座（芝久保） 3 音楽ワークショップ講座「みぢかにクラシックを」（ひばり） 4 子ども水墨画教室「初めての水墨画」（ひばり）
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
傍聴者	有り（1人） 無し
会議内容	
<p><b>(1) 第3回定例会の記録について</b> 副会長 記録の修正についての申し出等を確認する。 職員 特にない。 副会長 配付の記録のとおりとする。</p> <p><b>(2) 報告事項</b> 1 <b>行政報告</b> 副会長 報告を受ける。 館長 7月1日付職員異動があった。田無公の山本主幹が駅前公の分館長兼務で配置換えとなり、西川分館長は主査とする。代わって、田無公には生活文化課より寺嶋分館長が配属される。また、谷戸公に生活福祉課の永濱主事が配属された。これにより、谷戸と駅前公は、1人ずつの加配となっ</p>	

ている。

副会長 特に質疑がなければ、質疑を終結する。

## 2 事業計画書・報告書について

副会長 質問・意見を受ける。

委員 芝久保公の女性問題講座の学習内容の講座記録の作成とは、誰が行うのか。

職員 受講者による講座のまとめが目的だ。昨年まとめ作りをカリキュラムとして記載しなかったため、参加者から指摘を受けたため記載した。この間も保育は付く。

委員 同じ講座の心理学コラージュとは。

職員 平成20年の講座でも行ったものであるが、参加者が画用紙を自由に形を切り、貼る。そして、それを互いに見せ合ったりして、心理的な課題や問題点を講師とともに読み取っていく。自己を知るための手法と聞いている。当然心理学の専門化が講師になる。

委員 各事業の講師料は払っているのか。

館長 1回2万5千円を上限にして支払っている。

委員 講師の選定は誰が行うのか。

館長 講座の担当者である。

委員 報告書の提出期限は決めているのか。

職員 終了後できるだけ早くということはあるが、期限は切っていない。単発の講座と長期に行うものとは、集約のスピードは異なると思う。

委員 駅前公の身近な樹木に親しもう、だが、外で行う内容のようだが会場は会議室とも記載がある。また、8回目の樹木博士とは何か具体的な資格でもあるのか。

職員 全ての回は野外の、主に市内で行われる予定だが、クラス作りなどは公民館で行うということだ。市内のときは2時間程度ワークをすれば十分だと思うし、6、7回目は備考にもあるとおりで遠出をするので1日の講習時間になっている。また、博士というのは、資格が取得できるものではない。

副会長 質疑を終結する。

## 3 公民館だより編集室報告

副会長 報告を求める。

委員 7月号の反省。1面の皆既日食についてはタイムリーでよかったと思う。2から3面に関しては、今回は情報量が過多で、そうした際のレイアウトの工夫が必要と感じる。2つの講座で往復はがきの絵を描いて募集要領を記載しているが、これを1つにするだけでもスペースが開くと思う。

先月議論になった公運審コラムについては、今期の委員が一巡するまでは続けることで確認した。既に入稿した委員もいると思うが、名簿順に進むので、入稿月には職員から連絡をすることにした。

8月号の1面は戦争体験についてだが、女性の暮らしと青年団についてリポートしたが、記事作りに苦労した。記録のみでも良かったのか、という意見もあった。サークル訪問は、尺八サークル。

9月号は公民館だより100号記念に当たる。編集委員の座談会の記録を記事にした。座談会は既に終わっており、サークル訪問をしたときの感想、市民記者として、市民の目線からのだよりの必要性等について話し合った。

10月号は、田無公民館ロビーを中心に活動する市民と公民館とのかわりについて記事にする予定だ。

ライター講座が終わった。講座の資料が大変有益なので、増し刷りして関係者に配布する予定だ。また、講座の参加者に市民記者をお願いすることはできないのかという意見も出ている。

委員 サークル訪問の順番や基準はあるのか。

委員 各館から出ている職員側の編集委員が選定している。

委員 ただ今、公運審コラムについての見解が示された。実は、第4期の委員の中でも継続を希望する意見が多く、ただしいきなり入稿も厳しいと思われるので、第4期から第5期に引き続き委嘱さ

れる人から順番を決めておいた。当面の策としてだ。

いずれは一巡することになるので、コラムに変わるアイデアがあれば改めて提案してほしい。その決定によっては内容を変更することも可能だと思う。

委員 取り敢えずは、公運審コラムとして継続したい。職員から順番については連絡するので、寄稿をお願いしたい。

副会長 質疑を終結する。

#### 4 都公連研究大会企画委員会報告

副会長 報告を求める。

委員 前回宿題になっていた大会の趣旨文を決定して、直ぐに課題別集会の検討に入った。

他の課題別集会の内容は深くは知ることはできないが、これまでのところどの分科会もかなり中身の濃い討議を継続しているようだ。参加して分かったことだが、企画委員の当日までの過程が本当に勉強になる。議論の進行の早い分科会は、既に助言者まで決定しているようだ。

次回の会議までには、ほぼ全体像が発表できるのではないか思う。

副会長 特に意見がなければ、質疑を終結する。

#### 5 都公連委員部会運営委員会報告

副会長 報告を求める。

委員 7月18日に第1回の研修会を開催した。48人の参加であった。そのうち西東京市からは7人の参加である。福生市の公民館長から、今、公民館が問われていること、をテーマに説明を受けてグループ討議をした。

社会教育の置かれている今日的な課題に対してどう対処するのか、またはサテライト型公民館の必要性などの提案があった。大変参考になった。

グループ討議については、時間は短かったが、運営委員の間ではこうした形式がよろしい、との反応であった。

副会長 参加者の感想を聞きたい。

委員 今回の研修会に参加して、住民参加が不可欠であることを再認識した。伊東館長からはグループ討議の課題を3つ提案されたが、私は地域で仲間づくりについて話し合った。小平市の事例であるが「ご近所公民館の育て方」という取り組み、小金井市からは「大学、商店との連携」の話も興味深かった。

また、伊東館長の話で頭に残っているのは、地域に散らばる専門家市民を集団の力として結集することの説明を受けた。

委員 私のグループには、新人委員は2人しかいなく、また館長の講演内容も大変内容が濃く、追いつくのが大変だった。

小平市の委員からは、職員と市民の連携がとりにくいという報告。国分寺市からは、公運審が複数あり、各館の公運審の連絡がとりにくいという報告を聞いた。

また、ある市の報告では、方針は職員が一方的に決定し、説明をするのみという意見が示されたのを聞き、西東京市でよかったという感想である。本当に地域差が激しいのだと実感した。

副会長 大変勉強になった。伊東館長の言葉であるが、記憶よりも記録が大切だという言葉を実践していきたいと思った。これからは記録をまめに取っていきたい。

公民館は住民参加が不可欠な施設だ。そのためにも地域を分析して、地域のビジョンづくりをすることが大切だと教えられた。私が友人たちに公民館の大切さを説明できるように勉強しなくてはならないと感じた。

質疑を終結する。

19時08分休憩

19時20分再開

### (3) 協議事項

## 1 公運審委員の役割について

会長 先月に引き続き、公民館運営審議会委員の役割について、上田委員のレクチャーを受けた。

上田委員のレクチャー

会長 来月からは萩原委員のレクチャーを受けたいと思うので、よろしく願いしたい。

## (4) 事務連絡及び情報交換

委員 警備員の対応が良くないという市民からの意見を聞いている。職員のいる時間のことだが、用があって職員を訪ねているのに、執拗に職員の名前と取次ぎ用件を聞きだそうとする。それであるにもかかわらず職員は対応してこないということだそう。館長は指導をしてほしい。

次に、会議録に傍聴者数を入れることを提案する。もっと多くの人に傍聴してほしいと思うから。なぜできないのか確認したい。

職員 施設の名称が分からないと注意できないと思う。

委員 柳沢公民館のことだ。

職員 接遇に関して確認したい。傍聴者数の有無は、1提案に対して、いいとも悪いとも答えられないが。

委員 数値を入れることはできないのか。

職員 入れることは可能だと思うが、これまでは入れていなかっただけのことだ。

委員 それでは入れるということでもいいのではないか。いっそのこと、公民館だよりも掲載してはどうか。

職員 傍聴者数を記載することは、各委員の総意で、ということによろしいのか。

会長 今は情報交換の場でもあり、委員からの提案を受けた。次回に議論して決めてはどうかと思うが。

委員 必要だと思う委員もいれば、疑問に思う人もいるだろうし、議論して決定する内容とも思えないが、いかがなものか。職員が入れられるというのであればそれでよいと思うし、逆に入れないという論拠はあるのか。

職員 特に見当たらないと思う。どちらでも結構だ。

会長 それでは提案を受けて、記載してみることで集約したい。

## (5) 次回の日程について

8月26日(水曜日) 18時30分 於:田無公民館 第二学習室

会長 他に意見がなければ、閉会とする。